



環境保全のリーディングカンパニーを目指す

2014年12月期 決算

2015年12月期 事業計画・戦略 説明会

証券コード6328



Water



Air



Ground

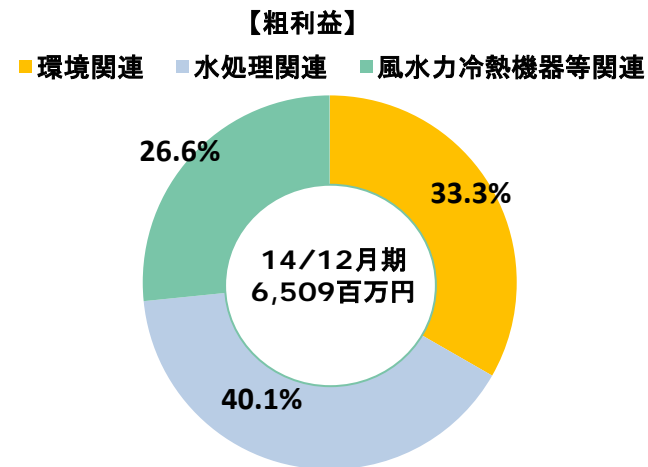
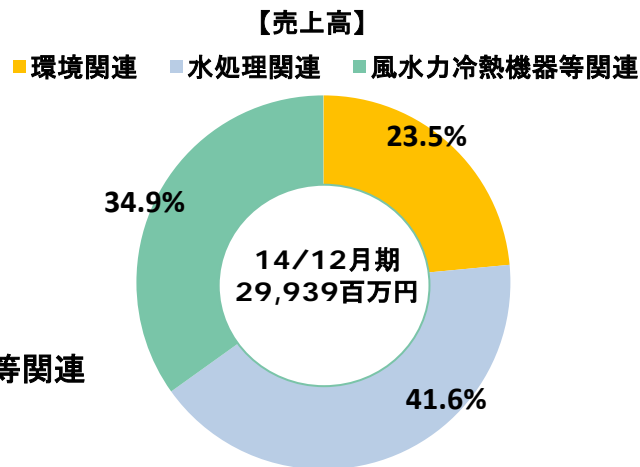
荏原実業株式会社

2015年2月6日

(参考)事業概要



《3つの事業セグメント》



● 環境関連（メーカー事業）

「計測」、「医療」、「省エネ・水資源」、「ボエフ・脱臭」「水産」等の分野で、製品の開発から販売までを行う事業

自社製品を扱う最も注力している事業で、利益率が高い。粗利構成比50%を目指す。

● 水処理関連（エンジニアリング事業）

上下水道関連施設の設計・施工からメンテナンスまで、トータルサービスを展開している事業

官需中心に、更新需要が拡大。東北地域や西日本地域に販売エリアを拡大。

● 風水力冷熱機器等関連（商社事業）

ポンプ、送風機、空調冷熱機器等の産業機械を、商業ビルや各種製造工場に販売する事業

民間設備投資や五輪需要の盛り上がりに対応。主力商品のほか新規取扱い商品にも注力。

(参考)環境関連(メーカー事業)一覧表

カテゴリー	事業内容	主要販売先	製品例
計測分野	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 水処理で使われる水質計測器の開発及び販売 ★ オゾン濃度計は国内トップシェア 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設 (高度処理浄水場、下水処理場) ◆ 民間工場 (半導体・液晶、食品等) 	 <p>高精度オゾンモニタ</p>  <p>溶存オゾン濃度測定装置</p>
ボエフ・脱臭分野	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 脱臭剤「ボエフ」ブランドを中心とした脱臭製品の開発及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設 (下水処理施設、農業集落排水処理施設) ◆ 商業施設 (厨房除害設備) 	 <p>ボエフ脱臭剤</p>  <p>ボエフ脱臭塔</p>
省エネ・水資源分野	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 省エネ型ブロワ、水処理プラント、水処理周辺機器の開発及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設 (下水処理施設、農業集落排水) ◆ 民間工場 (食品・飲料・製紙・化学) 等 	 <p>省エネ型ブロワ</p>  <p>バイオガス発電用生物脱硫装置</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 水産・養殖業向け水処理エンジニアリング ◆ 感染症対策、救急災害対策、医療機器等の開発及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 官公庁、食品会社 ◆ 医療機関、自治体、中央官庁など 	 <p>高効率ろ過器</p>  <p>海水殺菌装置</p>  <p>災害対策用エアテント</p>  <p>空気殺菌脱臭装置</p>

2014年12月期 決算概要

Water
Air
Ground



14/12月期 決算報告



受注高は、前期の大型案件（1件40億円）の反動と発注時期のずれ込みにより計画未達となった

- ◆ 受注高・・・44億円減（前期比13.7%減）
- ◆ 売上高・・・11.7億円増（前期比4.1%増）
- ◆ 営業利益・・・16百万円増（前期比1.4%増）

	13/12月期		期初計画	14/12月期		
	(百万円)	構成比(%)			構成比(%)	前期比(%)
受注高	32,126	—	35,000	27,723	—	▲ 13.7
売上高	28,770	100.0	29,600	29,939	100.0	+ 4.1
粗利益	6,435	22.4	6,630	6,509	21.7	+ 1.1
販売管理費	5,305	18.4	5,400	5,362	17.9	+ 1.1
営業利益	1,130	3.9	1,230	1,146	3.8	+ 1.4
経常利益	1,213	4.2	1,290	1,201	4.0	▲ 1.0
当期利益	722	2.5	770	848	2.8	+ 17.5
1株あたり配当金	40円	-	40円	45円	-	+ 12.5

14/12月期 決算のポイント

受注高

- ◆ 前期の東北地方における大型復旧事業（1件40億円）が影響し反動減
- ◆ 受注予定案件の翌期へのずれ込み（1月受注済み約15億円）
- ◆ 1億円未満の中・小型案件が増加

売上高

- ◆ 豊富な受注残高を背景として計画を上回って計上

粗利益

- ◆ 追加原価（約1.8億円）の発生により、利益率は前期に比べ0.6%減少

営業外収益・特別利益

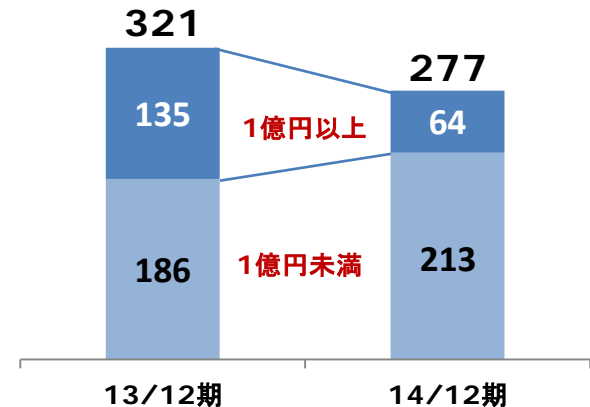
- ◆ 子会社イージェイ（株）の株式譲渡により、特別利益で190百万円を計上

受注残高

- ◆ 前期比22億円減少するも、案件の小型化（工期が短い）により、翌期売上計上される案件の利益率は改善する見込み

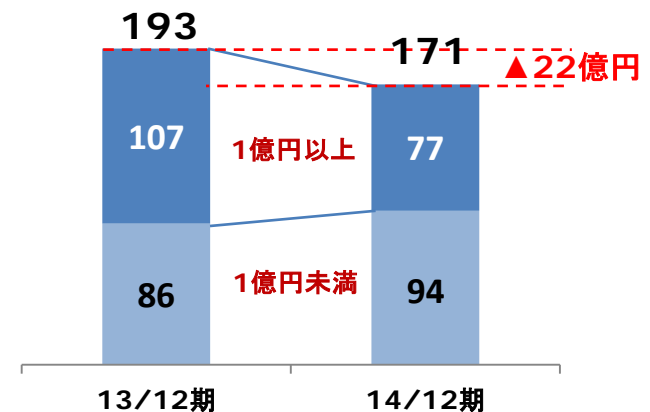
【受注高の推移】

（単位：億円）



【受注残高の推移】

（単位：億円）

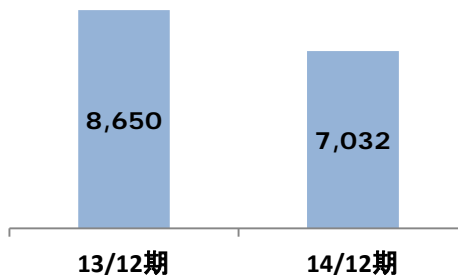


セグメント別 状況報告

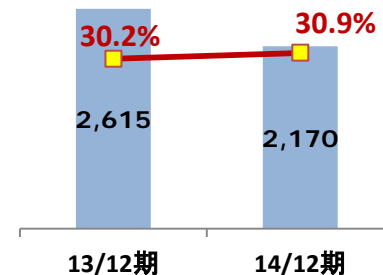
環境関連（メーカー事業）

- 前期大型案件（養殖、水産向け一括プラント等）の反動減
- 用水向けプラントが堅調
- 子会社売却による緩衝材事業の切り離し

（百万円） 【売上高】（環境）



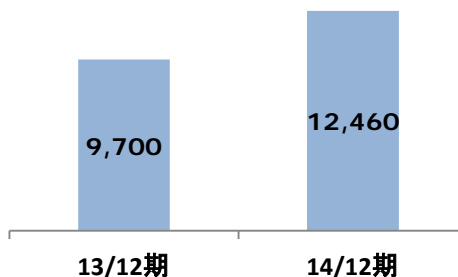
（百万円） 【粗利益】（環境）



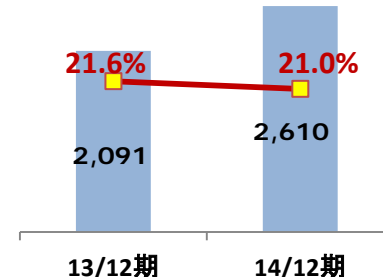
水処理関連（エンジニアリング事業）

- 東北地域の復旧・復興案件の増加
- 大都市圏における設備の省エネ化・耐震化・ゲリラ豪雨対策等の更新案件が堅調

（百万円） 【売上高】（水処理）



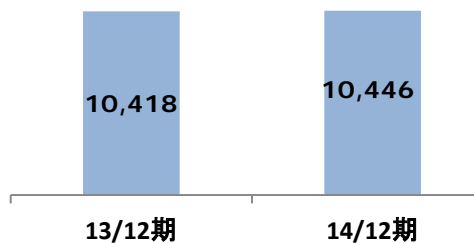
（百万円） 【粗利益】（水処理）



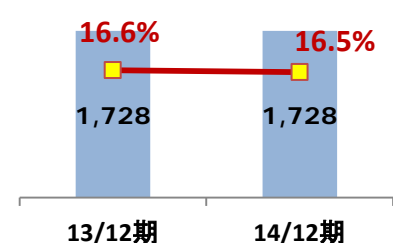
風水力冷熱機器等関連（商社事業）

- 前期末受注残の減少と今期受注高の増加により売上高は横ばい
- 足下の発注は、築地市場の移転やオリンピック開催を見据えた改修工事等の影響で増加傾向

（百万円） 【売上高】（風水力）

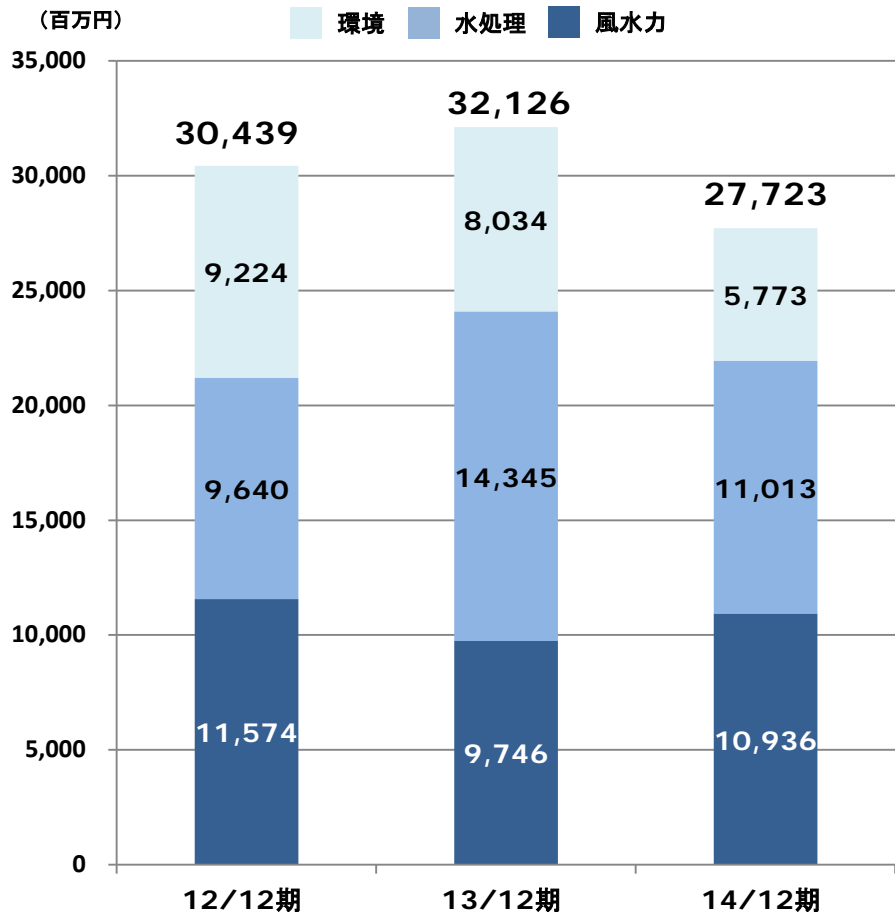


（百万円） 【粗利益】（風水力）

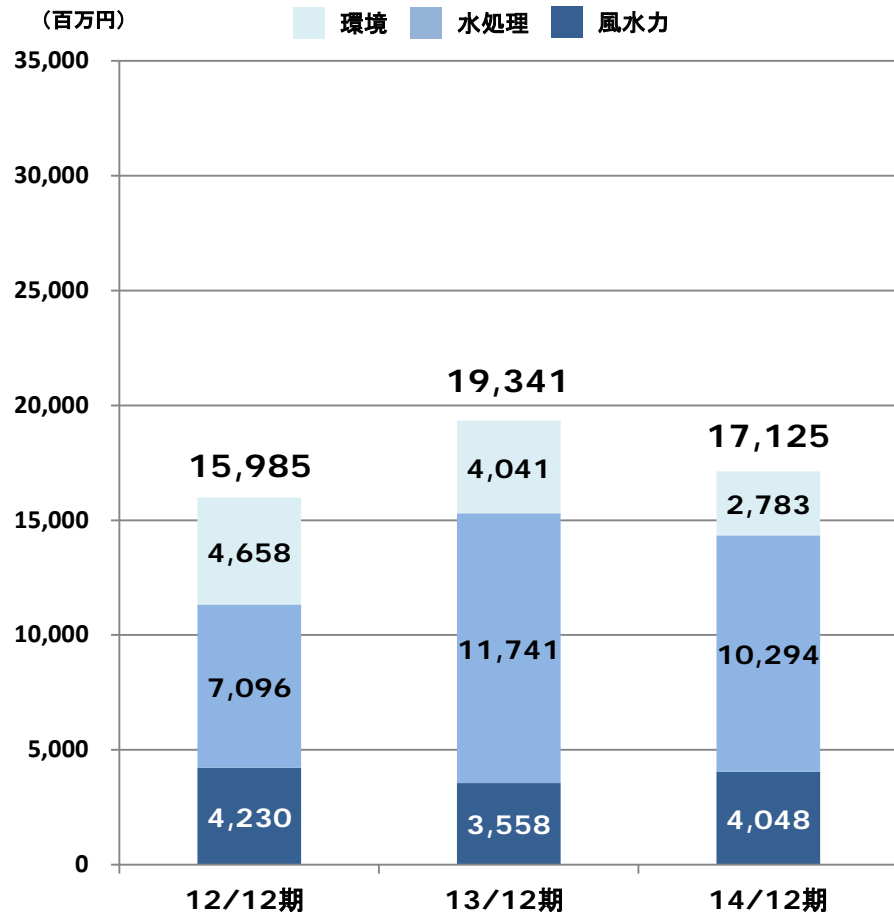


受注高、受注残高の推移

【受注高の推移】

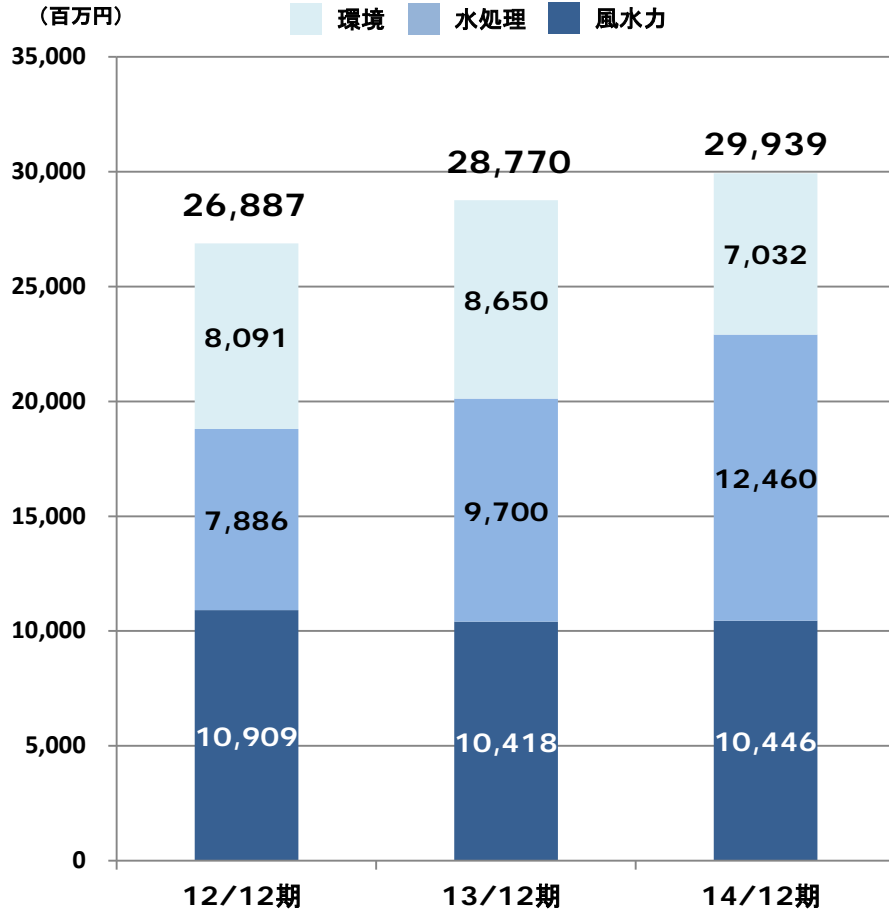


【受注残高の推移】

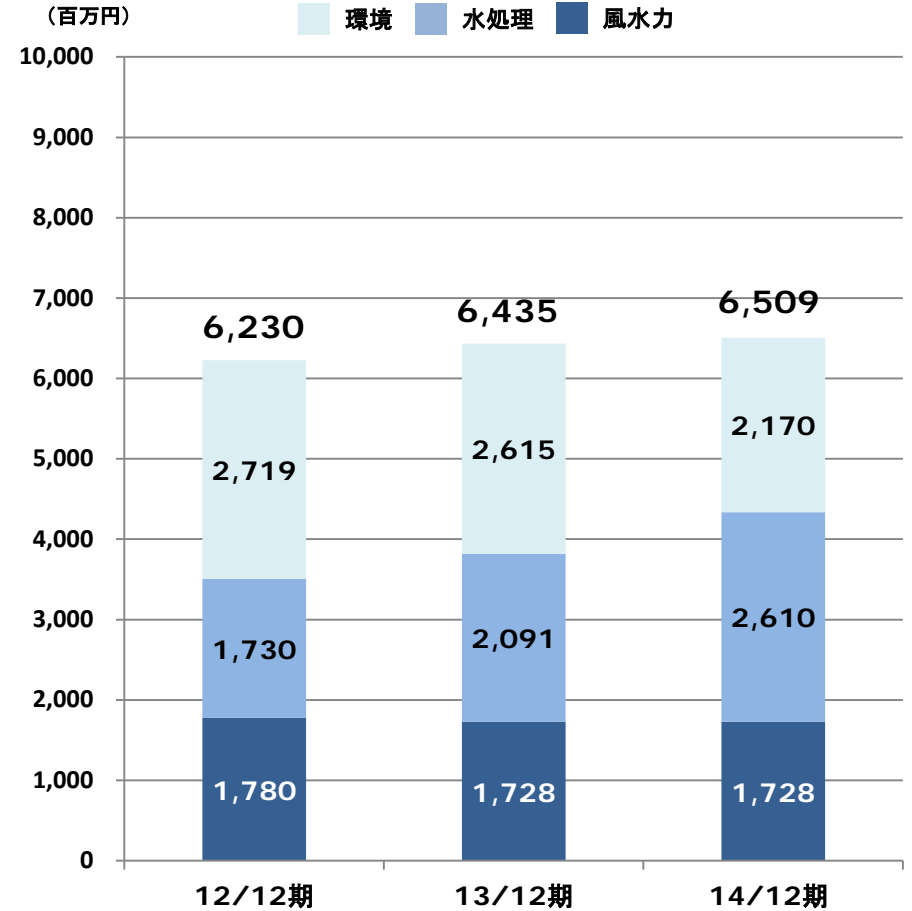


売上高、粗利益の推移

【売上高の推移】



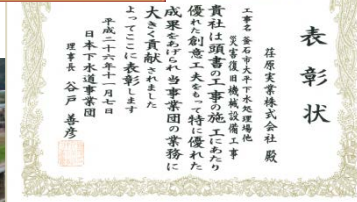
【粗利益の推移】



案件紹介

釜石市 大平下水処理場他 災害復旧機械設備工事

優良工事表彰



被災直後の現場

受注額8.1億円

2014年3月完工



完成後の太平下水処理場

案件紹介

石巻市 浄水場移転工事(須江山浄水場、鹿又取水場)

受注額40.6億円

2013年7月～ 建設中

高台への移転



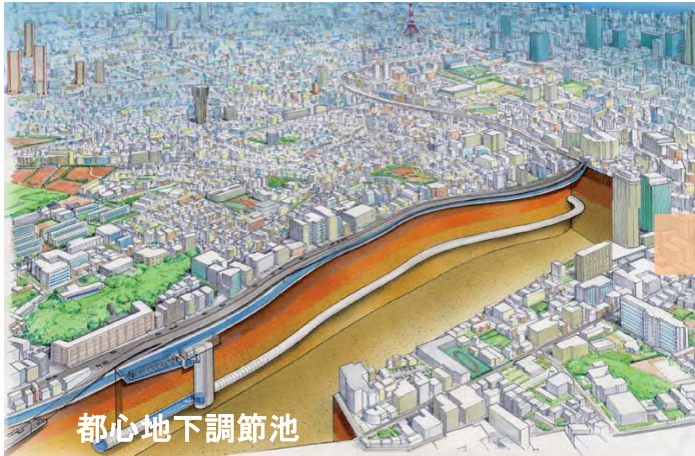
被災前の蛇田浄水場



工事中の須江山浄水場現場

案件紹介

■ 古川地下調節池 換気設備工事



都心地下調節池

受注額10.9億円

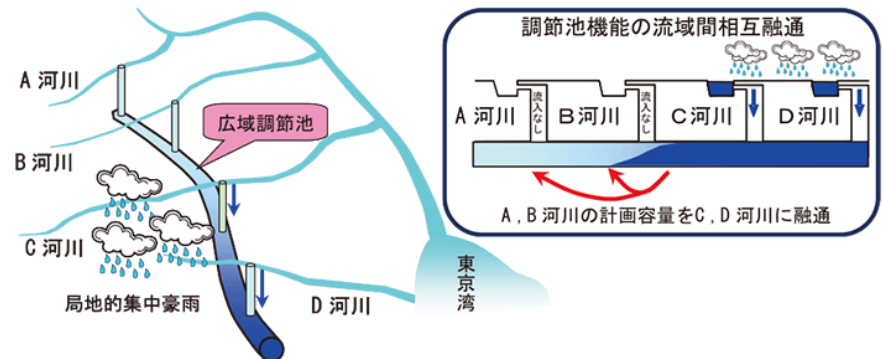
2016年完工予定



建設中の調節池と換気ダクト

【参考】上下水道分野におけるその他の災害対策

- ◆ 処理場、ポンプ場、管きょ施設等の耐震化
- ◆ 緊急用発電設備の設置
- ◆ 広域調節池の整備
(複数の河川を連結した調節池)
- ◆ 遠隔監視警報装置と災害対応ネットワークの整備
・・・など



【広域調節池のイメージ】

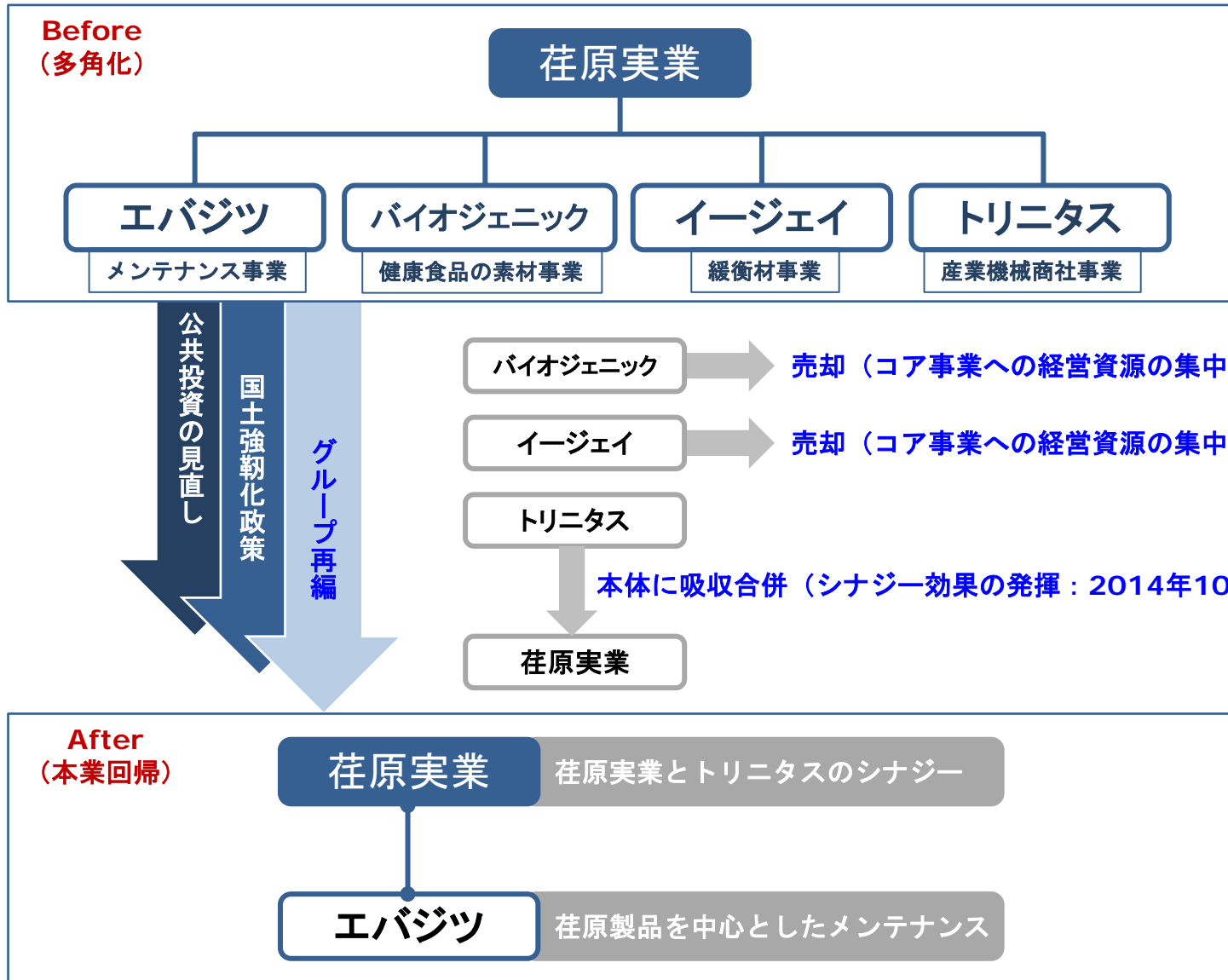
(出所：東京都建設局)

2015年12月期 事業計画・戦略

Water
Air
Ground



事業環境変化に合わせて グループ再編推進



- ◆ 前期受注残減の影響により減収見込みだが、受注回復を計画
- ◆ 営業利益率は、粗利率改善と販管費抑制により、前期3.8%⇒今期4.4%へ
- ◆ イーজেイ社売却の影響額は、売上高約6億円、粗利益約2.4億円、販管費約1.9億円、営業利益約45百万円

	14/12月期		15/12月期 計画		増加率 (%)	増減額
	(百万円)	構成比(%)		構成比(%)		
受注高	27,723	—	30,000	—	+ 8.2	+ 2,277
売上高	29,939	100.0	28,000	100.0	▲6.5	▲1,939
粗利益	6,509	21.7	6,370	22.8	▲2.1	▲139
販管費	5,362	17.9	5,140	18.4	▲4.1	▲222
営業利益	1,146	3.8	1,230	4.4	+ 7.3	+ 84
経常利益	1,201	4.0	1,290	4.6	+ 7.4	+ 89
当期純利益	848	2.8	780	2.8	▲8.1	▲68
1株あたり配当金	45円	-	45円	-	-	-

計画の前提条件(セグメント別計画)



環境関連（メーカー事業）計画

- 受注高
 - イーゼイ社売却により6億円の影響があるものの省エネプロワを中心に増加を見込む
- 売上高
 - 受注残12億円の減少が影響
 - 大型用水処理プラントの反動減

(百万円)	14/12月期	15/12月期 計画		増加率 (%)	増減額
			構成比(%)		
受注高	5,773	6,000	—	3.9	227
売上高	7,032	6,000	100.0	▲14.7	▲1,032
粗利益	2,170	2,100	35.0	▲3.2	▲70

水処理関連（エンジニアリング事業）計画

- 受注高
 - 東北や関東地域の上下水道施設の復旧、更新案件需要
- 売上高
 - 受注残15億円の減少が影響
 - 案件の小型化により利益率は改善

(百万円)	14/12月期	15/12月期 計画		増加率 (%)	増減額
			構成比(%)		
受注高	11,013	12,000	—	9.0	987
売上高	12,460	11,000	100.0	▲11.7	▲1,460
粗利益	2,610	2,500	22.7	▲4.2	▲110

風水力熱機器等関連（商社事業）計画

- 受注高
 - 築地市場移転やオリンピック開催による改修工事等市場環境は追い風
- 売上高
 - 受注残5億円の増加が影響

(百万円)	14/12月期	15/12月期 計画		増加率 (%)	増減額
			構成比(%)		
受注高	10,936	12,000	—	9.7	1,064
売上高	10,446	11,000	100.0	5.3	554
粗利益	1,728	1,770	16.1	2.4	42

粗利益

採算性の低い大型案件比率が低下し、粗利益率は向上する計画

販管費

減価償却費、人件費の増加および子会社経費の減少を計画

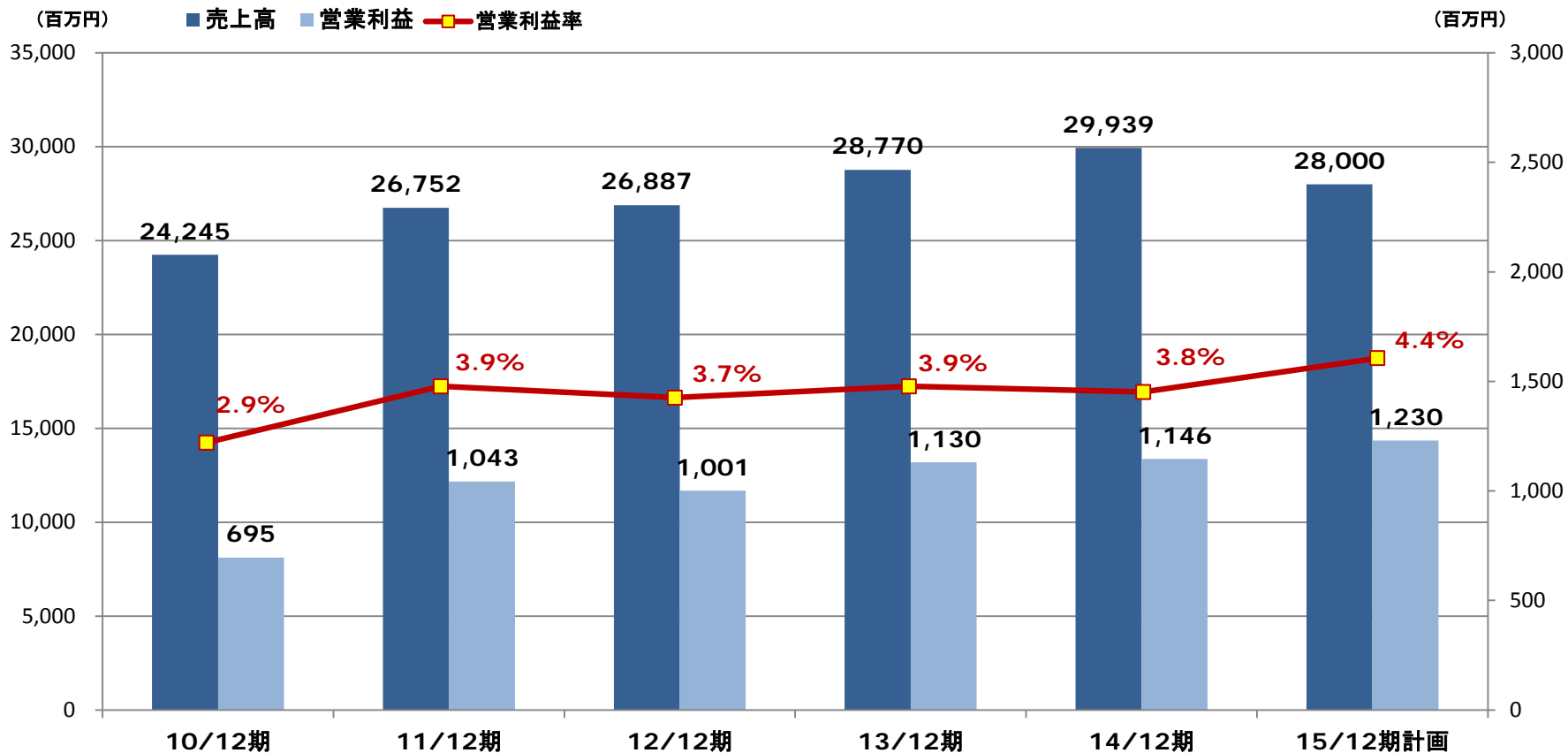
営業利益

営業利益率は受注案件の小型化により、3.8%⇒4.4%に改善する見込み

通期業績推移と目指すべき方向性

目指すべき方向性

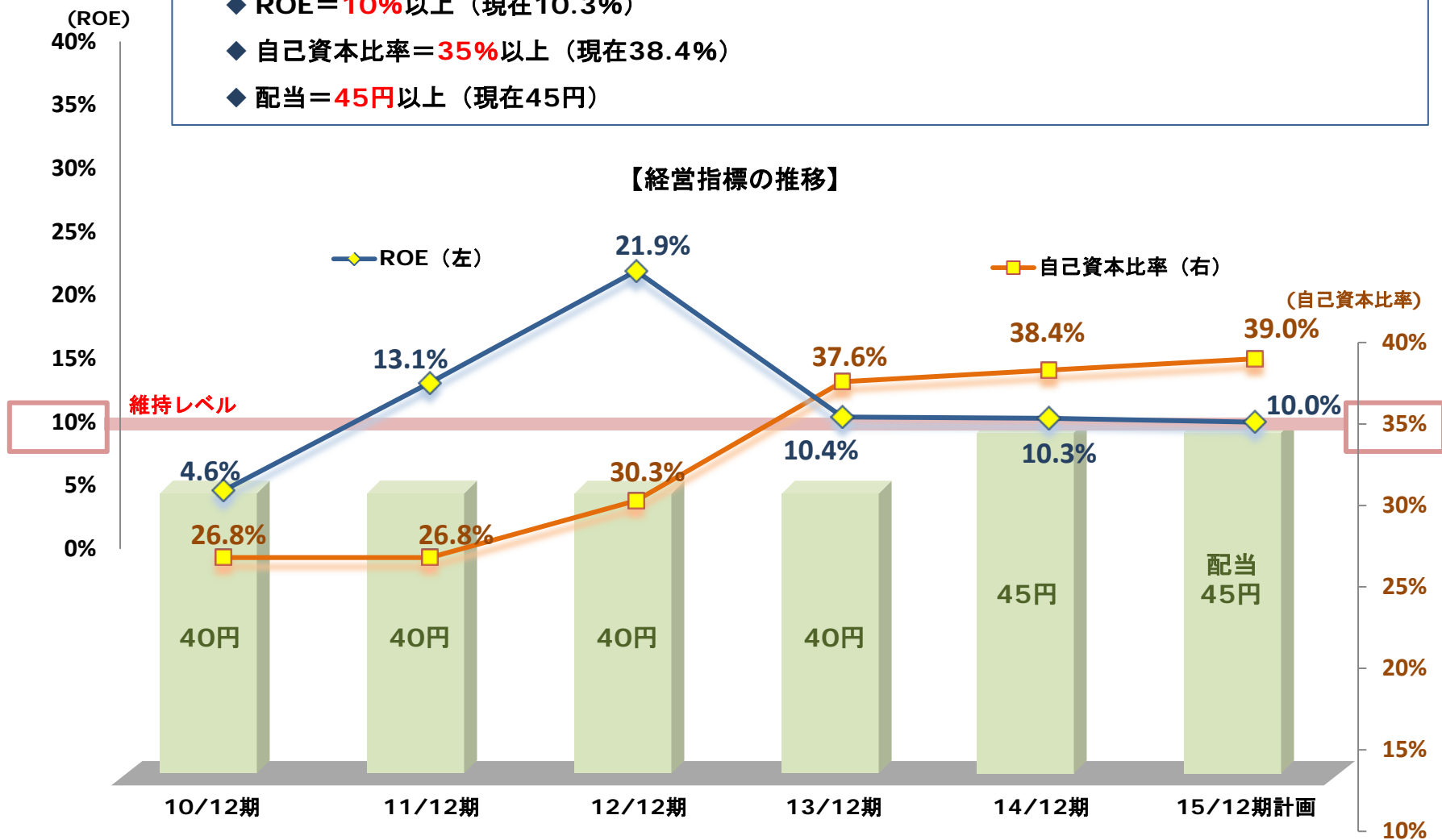
- ◆ 環境関連（メーカー事業）の粗利率構成比率=50%以上（現在33%）
- ◆ 営業利益率=5%以上（現在3.8%）



下記のレベル感を維持

- ◆ ROE = **10%**以上 (現在10.3%)
- ◆ 自己資本比率 = **35%**以上 (現在38.4%)
- ◆ 配当 = **45円**以上 (現在45円)

【経営指標の推移】



外部環境

- ◆ 少子高齢化
- ◆ 財政逼迫
- ◆ 国土強靱化政策
- ◆ 社会資本老朽化
- ◆ 防災対策促進
- ◆ 円安進行
- ◆ 省エネ意識の高まり
- ◆ 東京五輪開催決定
- ◆ TPP交渉

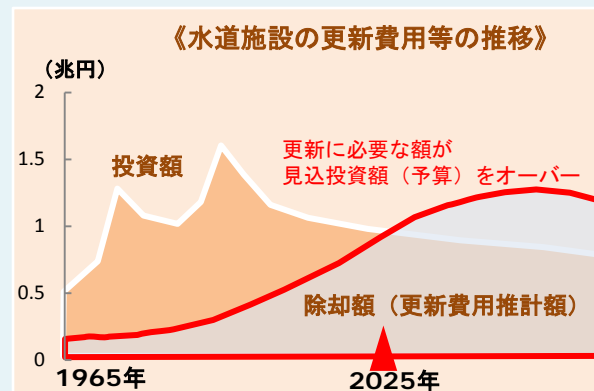
需要動向

上下水分野

- ◆ 1950年代から急ピッチで整備が進行
- ◆ 老朽化が進行し、更新需要が増加
- ◆ 財政問題から効率化や民間活用を推進

<拡大分野>

- 設備更新
- 省エネ
- 維持管理
- 創エネ
- 運転管理
- 効率化



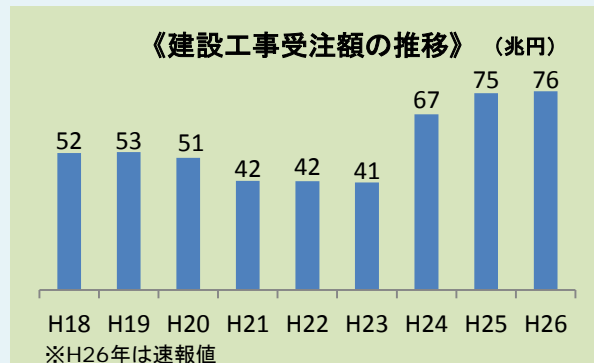
出典：国土交通省「日本の水資源」より当社作成

建築設備分野

- ◆ 国土強靱化、五輪開催決定が追い風
- ◆ 潤沢な資金により再開発が活発化
- ◆ 円安進行により工場国内回帰の動き

<拡大分野>

- 再開発
- 省エネ
- 設備更新
- 創エネ



出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」より当社作成

メインテーマ

コアビジネス領域における成長基盤の確立

1 自社製品を核とした収益基盤の拡大(環境関連)

- ◆ 省エネプロワの内製化とメンテナンス体制強化
- ◆ 水産・養殖案件へのアプローチ強化
- ◆ 生物脱硫装置の水平展開

2 販売エリアの拡大と強化(水処理関連)

- ◆ 西日本エリアの営業強化
- ◆ 復興・防災需要の取り込み

3 拡大する建設需要の取り込み(風水力冷熱機器等関連)

- ◆ 情報収集・共有の徹底と上流営業の強化
- ◆ アライアンスの強化による取扱製品の拡充

自社製品を核とした収益基盤の拡大

1. 省エネブロワの内製化とメンテナンス体制強化



省エネブロワ



かずさ生産技術センター

<前期検証と今後の展開>

内製化

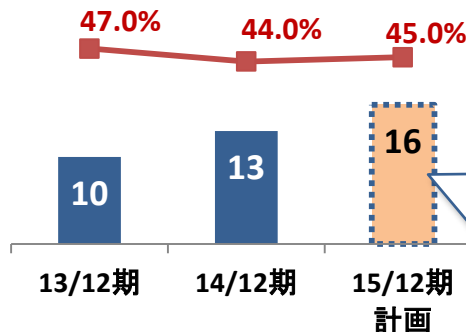
- ◆ 新技術センターで内製化した新型ブロワを下水処理場へ納入
- ◆ 大口顧客へのPRを強化し、公共向け水平展開を強化

メンテナンス体制強化

- ◆ 民間向けを中心に既設ブロワ400台
- ◆ 定期点検や部品交換などアフターマーケットの拡大に対応

《環境関連 更新・メンテナンス実績》

(億円) ■ 売上高 ■ 粗利益率



オゾンモニタ



脱臭剤



省エネブロワ
他

従来はオゾンモニタ・脱臭剤が中心

⇒ブロワを加え安定収益基盤拡大へ

2. 水産・養殖案件へのアプローチ強化



海水殺菌装置

<前期検証と今後の展開>

- ◆ 高級魚種から大衆魚へ市場が拡大
- ◆ 水産向けの専任チームを発足させ、全国的に拡大する需要を取り込む

3. 新製品「生物脱硫装置」の水平展開



生物脱硫装置

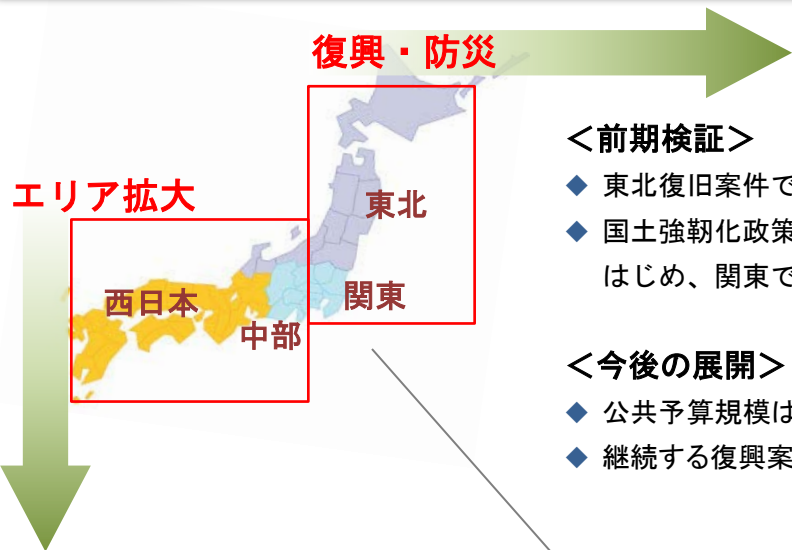
<製品概要>

バイオガス施設の付帯設備
従来比ランニングコスト80%削減

<前期検証と今後の展開>

- ◆ 前期本格的に営業を開始し、大手ビール工場へ納入
- ◆ 実績を活かして水平展開を加速

販売エリアの拡大と強化



1. 西日本エリアの営業強化

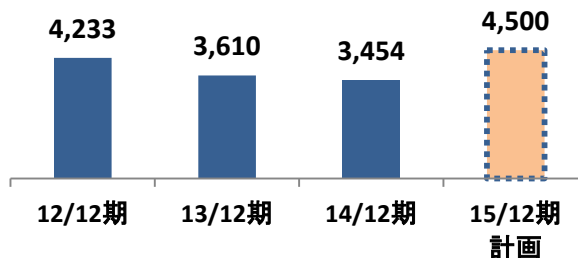
<前期検証>

- ◆ 公共本部を東西に分け、西日本エリアの人員配置を強化
- ◆ 関西地方を中心に公募入札案件にチャレンジするも、競争が激しく計画未達

<今後の展開>

- ◆ 密着営業によるPR・情報収集
- ◆ ブロワ、脱臭剤、ポンプなど、競争力のある製品を軸に提案営業を強化

(百万円) 【西日本エリア 受注高の推移】



2. 復興・防災需要の取り込み

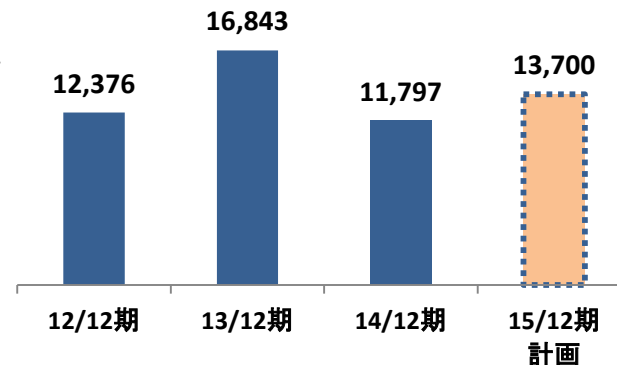
<前期検証>

- ◆ 東北復旧案件で優良工事表彰受賞
- ◆ 国土強靱化政策により、ゲリラ豪雨対策をはじめ、関東でも防災案件が活発化

<今後の展開>

- ◆ 公共予算規模は高水準を維持
- ◆ 継続する復興案件をフォロー

(百万円) 【東日本エリア 受注高の推移】



技術者の育成

<技術者育成の取り組み>

- ◆ 講習会の開催による技術の伝承
- ◆ 計画的な実務経験の付与
- ◆ 資格取得奨励制度の充実 (取得費補助、手当の実施)



講習会の様子

セグメント別戦略 ～風水力冷熱機器等関連～



東京都 長期ビジョン

※東京都 資料より抜粋

2015年

<東京都の取り組み>

- **社会インフラ整備**
 - ・ 競技施設、統合型リゾート整備
 - ・ 広域交通インフラの整備
 - ・ 地震、豪雨等 災害への備え
 - ・ バリアフリーの推進 など
- **新技術の活用**
 - ・ 再生エネ、水素エネの活用
 - ・ 自動運転技術の活用 など

2020年

史上最高のオリンピック
パラリンピックの実現

課題を解決し、将来にわたる
東京の持続的発展の実現

2024年

「世界一の都市 東京」の実現

世界一の経済都市
世界有数の観光都市
世界一便利な都市
世界一安全・安心な都市
持続可能性を備えた都市



持続的成長・発展

<ビジネスチャンス>

- ◆ 老朽施設の更新・耐震化
 - ・ 上下水道
 - ・ 商業施設
 - ・ マンション
- ◆ 省エネ・創エネの推進
 - ・ ブロワの分散設置
 - ・ EMSの活用
- ◆ 豪雨対策の推進
- ◆ 水辺環境の水質改善
・・・など

拡大する建設需要の取り込み

1. 情報収集・共有化の徹底

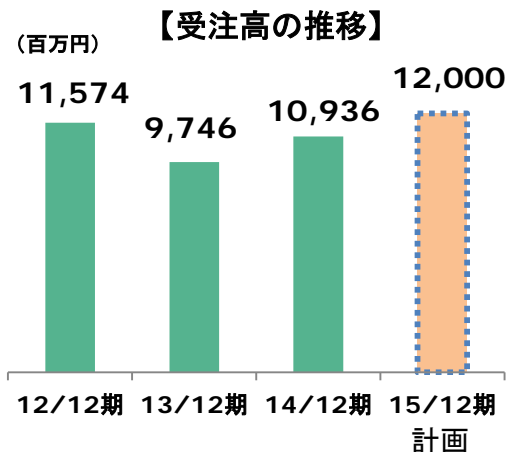
<前期検証と今後の展開>

- ◆ 再開発案件の獲得が増加（築地場外、品川など）
- ◆ 豊洲新市場など再開発案件へのアプローチ継続
- ◆ ニーズの把握に努め、商品開発へ繋げる

2. アライアンスの強化による取扱製品の拡充

<前期検証と今後の展開>

- ◆ 新製品分野は順調に拡大
- ◆ 多様化するニーズに対応し、積極的に扱い品を拡充



<参考資料> セグメント別 業績推移(通期)

(百万円)		第74期		第75期		第76期		第77期	
		2012/12		2013/12		2014/12		2015/12	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
受注高	計測	933	+1.6%	865	△7.3%	883	+2.1%	1,000	+13.3%
	ボエフ脱臭	1,885	+48.9%	1,628	△13.6%	1,702	+4.5%	1,700	△0.0%
	省エネ・水資源	2,430	+23.5%	3,402	+40.0%	1,437	△57.8%	2,000	+39.2%
	その他	3,973	+110.9%	2,137	△46.2%	1,750	△18.1%	1,300	△25.7%
	環境関連(メーカー)	9,224	+33.8%	8,034	△12.9%	5,773	△28.1%	6,000	+3.9%
	水処理関連(エンジニアリング)	9,640	+21.3%	14,345	+48.8%	11,013	△23.2%	12,000	+9.0%
	風水力冷熱機器等関連(商社)	11,574	+23.7%	9,746	△15.8%	10,936	+12.2%	12,000	+9.7%
	連結 合計	30,439	+25.8%	32,126	+5.5%	27,723	△13.7%	30,000	+8.2%
売上高	計測	902	+18.8%	1,042	+15.5%	858	△17.7%	1,000	+16.6%
	ボエフ脱臭	1,884	+45.6%	1,768	△6.2%	1,462	△17.3%	1,700	+16.2%
	省エネ・水資源	2,583	△16.9%	2,163	△16.3%	3,015	+39.4%	2,000	△33.7%
	その他	2,719	△7.2%	3,676	+35.2%	1,695	△53.9%	1,300	△23.3%
	環境関連(メーカー)	8,091	△0.0%	8,650	+6.9%	7,032	△18.7%	6,000	△14.7%
	水処理関連(エンジニアリング)	7,886	△13.0%	9,700	+23.0%	12,460	+28.5%	11,000	△11.7%
	風水力冷熱機器等関連(商社)	10,909	+13.7%	10,418	△4.5%	10,446	+0.3%	11,000	+5.3%
	連結 合計	26,887	+0.5%	28,770	+7.0%	29,939	+4.1%	28,000	△6.5%
粗利益	環境関連(メーカー)	2,719	+10.6%	2,615	△3.8%	2,170	△17.0%	2,100	△3.2%
	水処理関連(エンジニアリング)	1,730	△20.0%	2,091	+20.9%	2,610	+24.8%	2,500	△4.2%
	風水力冷熱機器等関連(商社)	1,780	+6.6%	1,728	△2.9%	1,728	+0.0%	1,770	+2.4%
	連結 合計	6,230	△1.0%	6,435	+3.3%	6,509	+1.2%	6,370	△2.1%
販管費	5,229	△0.4%	5,305	+1.5%	5,362	+1.1%	5,140	△4.1%	
営業利益	1,001	△4.0%	1,130	+12.9%	1,146	+1.4%	1,230	+7.3%	
営業外収益	167		243		142		140		
営業外費用	141		159		87		80		
経常利益	1,027	△8.4%	1,213	+18.1%	1,201	△1.0%	1,290	+7.4%	
特別利益	1		173		190		-		
特別損失	19		84		23		-		
税引前利益	1,009	△6.5%	1,302	+29.0%	1,368	+5.1%	1,290	△5.7%	
当期利益	1,180	+91.2%	722	△38.8%	848	+17.5%	780	△8.1%	

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。



「経営企画室」

TEL 03-5565-2885